

進化を重ねる「まちづくり会社」

居場所・配食
外出支援
子ども食堂

米原市

■活動内容

- ・たまり場食堂…… 毎週土曜日昼食300円 コーヒー100円
- ・お買い物コーナー…… 近くの八百屋さんが出張してきます
- ・配食…… 毎週木曜日 宅配昼弁当 30食 400円
- ・付き添い移送サービス…… 利用対象者 独居高齢者・高齢者夫婦・身体障害者
75歳以上で運転免許を自主返納された方
片道30km程度 玄関から玄関までの見守り
料金は、直接費(ガソリン代・駐車料・高速料金)
- ・水曜日にたまり場開放…… 参加者はそれぞれに語り、趣味を交換
- ・要支援者の受け皿…… 総合事業Bを実施
- ・認知症予防教室…… 毎週土曜日 無料 たまり場で
- ・子ども食堂…… 土曜日に高齢者と一緒に食事



■団体名 一般社団法人 大野木長寿村まちづくり会

■参加者 社員

■活動拠点
連絡先 米原市大野木1090番地
大野木たまり場「よりのこころ」
代表理事 清水清市
TEL：0749-57-0789

■活動のきっかけ・実現までの経緯

大野木地区のまちづくりは平成6年頃から始まり、「区の行財政と生活改善」を主テーマに取り組み、当時の決議事項は現在も引き続き守られています。

現状のまちづくりは、平成21年頃から部分的に始まり、平成22年に「大野木豊年踊り長寿村建設検討委員会」を設置。「30年後の大野木のために今何をすべきか」をテーマに2年間検討した結果「6項目」の課題が答申され、区の総会で決議されました。そのような中、「民生委員児童委員経験者、区長経験者7名」が自主的に集まり、「身の丈にあった内容で、今やるべきこと、出来ること」を検討し、「高齢者支援訪問事業」を中心に、平成23年9月「大野木長寿まちづくり会社」を立ち上げました。

まちづくり会社は年々進化を重ね、「自立・持続するしくみの構築」によって地域に浸透し、「信頼と期待度がたかまりつつあるなかでインクルーシブなコミュニティモデルを構築し、広く地域社会に貢献」していきたいと考えています。



利用者さんの声

○移送サービス

有難いことをはじめていただき本当にたすかります

活動者の声

人口減、若者の大都市流出と将来が不安視されています。超高齢化社会は「なるようになる」の考えは捨てなければいけません。まちづくり会社は、団結、行動力、実績の積み上げで、これからが正念場です。

集落を守るのは、元気な高齢者しかいません。いい汗を流すのは最大の健康法です。長い老後を楽しく元気に過ごしましょう。一緒に活動して頂けませんか。

■活動に対する思いや目標、継続するノウハウ

大野木の高齢者は宝であり、大野木の風土は永遠の資源として、丸ごと保存につとめ、大野木人の、大野木人による、大野木人のために、知恵と力を結集して区行政等に制約されない柔軟かつ持続する形は、長年のまちづくり活動から根付いたもので、先人が築いた風土が原点となっています。

平成29年9月に法人格を所得しました。これまでの流れと次代に向けた循環するしくみの構築に懸命なる努力を続けており、これらの成果は大野木地区における最大の財産であります。